

MusicMachine – REUGE by MB&F

MusicMachine は今まで体験したことのないような音楽の世界を堪能できるオルゴールだ。本製品は最高級ハイエンドオルゴールの持つ伝統的で由緒ある要素はすべてそのままに、しかし、まさに型破りな方法でデザインされ構成されている。

しかし、REUGE(リュージュ)と MB&F のコラボレーションは私たちの期待をまったく裏切らない。リュージュは 150 年近くの専門知識と経験を誇る世界のオルゴールのプレミアメーカーだ。そして、受賞歴があり、芸術とマイクロエンジニアリングの融合を実現し続ける MB&F は、その前衛的な三次元のオロロジカルマシーンで世界中の注目を浴びた。

滑らかなアウトリガーの脚部にデュアルプロペラとシルバーのツインシリンダーがマウントされた MusicMachine は、遙か彼方の宇宙から降り立つスペースシップを彷彿とさせる。

MusicMachine に搭載されたシリンダーは各々3つの異なる旋律を奏でる。いずれも MB&F の創設者でありクリエイティブディレクターを務めるマクシミアン・ブッサーが吟味したものだ。左のシリンダーは、映画「スターウォーズ」より「May the Force be with you(フォースの守りあれ)」、映画「スターウォーズ エピソード 5/帝国の逆襲」より「Imperial March(帝国のマーチ)」、「スタートレック」のテーマを奏でる。右側のシリンダーではガラリと趣向が変わってピンク・フロイドの「Another Brick in the Wall(アナザー・ブリック・イン・ザ・ウォール)」、ディープ・パープルの「Smoke on the Water(スモーク・オン・ザ・ウォーター)」、ジョン・レノンの「Imagine(イマジン)」 – いずれの旋律も MB&F の急進的で因習にとらわれない姿勢に通じるものがある。

*「多くの子供と同じように、少年時代の僕の使命はこの世界を救うことだった。」*ブッサーはこのように述べている。*「MusicMachine は、ルーク・スカイウォーカーやカーク船長のようなヒーローの世界にどっぷりとはまっていた少年時代の夢や憧れを形にしたものなんだ。」*

リュージュにとつての最も大きな課題は MB&F のデザインのメカニカルな均整美を尊重することであり、それはすなわち、オルゴールの分野で彼らが培ってきたしきたりを打ち破ることだった。MusicMachine には実際に、独立したムーブメントが2つある。そのそれぞれが、巻き上げ式のプロペラ、メインスプリングバレル(プロペラの下でピストンのように見える)、3つのメロディーを奏でるピン付きの水平型シリンダー、そして、各音を刻む、個別に手作業で調音された垂直型の櫛歯で構成される。

音楽を演奏している間にシリンダーが巻き戻されるスピードは、プロペラが上部に付いているピストン型のメインスプリングバレルの外側に取り付けられた円形ファンのレギュレーターで制御する。

この2つのムーブメントをコピーして、単にメロディーを変える方法を取った方が余程簡単であったはずだが、MB&F のオリジナルコンセプトで完全なるシンメトリーが求められているため、ムーブメントが完全に同一である場合、シリンダーの櫛歯を外に配置することはできなくなる。そこで、リュージュは2つのムーブメントを鏡合わせに配置するという前代未聞の構成手順を踏んだ。すなわち、ムーブメントの部品とアーキテクチャの設計を完全に逆に行ったのだった。

最終結果は SF ファンのブッサーですら信じがたいと感じるほどの、ビジュアル的にも音響的にも優れた力作となった。「リュージュはオルゴールのジェダイマスターと呼ぶにふさわしい会社だよ。リュージュが僕たちのデザインをどのように実現できたかについては、僕たちも信じられない思いでいっぱいだった。その音響の素晴らしさについてはもはや言及する必要もないでしょう。」

リュージュ社 CEO クルト・クッパーもまた、この世紀のコラボレーションの成果に同じように喜んでいる。「MB&F がこの究極のコンセプトを手に私たちのもとを訪れました。そして高級オルゴールのことであれば、リュージュは夢を実現できることを実証して見せました。」

MusicMachine: 外観で人々を魅了し、音で再び人々を感動させる...この作品のフォースは強い。

MusicMachine は 66 点の限定エディション。33 点は白、そして残りの 33 点は黒(黒の 33 点は「ダークサイド」を意味する)。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

REUGE: Toshiaki Hirai, Eメール: hirai@reuge.co.jp 電話+ 81 3 5155 6104

MusicMachine – 21 世紀だけではなく、25 世紀のオルゴール。

メカニカルオルゴールは、回転するシリンダーのピンが金属の調律された櫛歯に当たることで、メロディーを奏でる。オルゴールのムーブメントは、技術的にも審美的にも、この芸術集団の生み出すオロジカルマシーンと多くの共通点を持つ。ゼンマイから得られたエネルギーは歯車列によって伝えられ、巻き戻しのスピードは慎重に調整される。ハイエンドのオルゴールの部品は、ハイエンドの時計のムーブメントのように、さらに繊細に仕上げられる。

19 世紀初めに、この世にオルゴールが誕生したころ、高級時計製造の拠点であったスイスが、高品質のオルゴール製作の拠点となったことは不思議ではない。1865 年、シャルル・リュージュがスイスのサントクロアに彼のオルゴール付き懐中時計店の一号店を開いたとき、彼はこのジャンルの草分けだった。およそ 150 年後の現在、リュージュは世界の最高級オルゴールのプレミアメーカーであり、今もサントクロアを拠点としている。

その後、リュージュのコレクションは典型的にクラシカルな逸品と最新デザインの両方で成長を続けながら – そこには特別に委託された特注品の制作を含む – リュージュは MusicMachine でオルゴールデザインの世界をさらに押し広げることに成功した。MusicMachine は 21 世紀というよりは 25 世紀にふさわしい。

SF 的デザイン

リュージュは、あらゆる偉大な SF 映画とテレビシリーズの大ファンである MB&F の創設者マクシミリアン・ブッサーの提案した未来的なスペースシップデザインをもとに MusicMachine を制作した。ECAL (スイス州立ローザンヌ美術大学) のデザイン科卒業生 チン・ワンとのコラボレーションにおいて、MB&F はすべての基本的なオルゴール機能を絶妙に統合するコンセプト – 調律した櫛歯、ピンを施したシリンダー (円筒)、巻き上げ装置、メインスプリングバレル、レギュレーター、音響的に最適化されたケース – を開発し、その一方で、流線型のハイパーソニックスペースシップのような外観を創ることに成功した。

メロディー

MusicMachine は SF 映画のような外観を持つだけではない。それが奏でるメロディーのうち 3 曲は、SF クラシックからチョイスされた。

左側のシリンダーには、ジェリー・ゴールドスミス「スタートレック」、ジョン・ウィリアムズの「スターウォーズ」のテーマから、そしてもう一曲は同じく映画音楽の巨匠、ジョン・ウィリアムズの「スターウォーズ 帝国の逆襲」より「Imperial March (帝国のマーチ)」が搭載されている。最初の 2 曲は勇敢さや冒険を呼び覚ます感動的な賛歌であり、残りの 1 曲は悪の帝王ダース・ベーダーが間近に迫る緊迫感を表現し、防備を固め、シールドを上げずにはいられなくなるような旋律だ。

しかし、MB&F は SF だけではない。彼らの想像力は強烈で因襲を打ち破るものだ – 高級時計界を取り巻く世界に確かに関係する – そして、このロックンロールな姿勢は、右側のシリンダーに巧みに含められた 3 つのメロディーに込められている。ジョン・レノンのクラシックな反戦歌「Imagine」、ディープ・パープルのリフが素晴らしい「Smoke on the Water」、ピンク・フロイドの忘れられない反社会ソング「Another Brick in the Wall」が採用された。

ブッサーはこれらを選ぶとき、自分の若き時代に思いを馳せながら、選曲という困難な作業をこなした。「SF のテーマ曲の他に、自分の人生の最初の 20 年間において、自分にはとても重要だったこの 3 曲を入れたかったんだ。」彼はこう続ける。「長いリストの中からなんとか 3 曲に絞ったけど、辛い作業だったよ。」

忠実に音楽を創る...機械的に

MB&F がメロディーを決めた後は、それらを機械的に創り込むためリュージュに託された。この挑戦をリュージュは冷静にやってのけた。まず、リュージュのミュージシャンが楽曲作品を検証し、最も耳に残る旋律を特定した。ミュージシャンはその後、オルゴール用にこれらの旋律を再現する手順に移った。このとき注意を払ったのは片方のシリンダーには 3 曲のロックメロディーが、もう一方のシリンダーには 3 曲の SF 系のメロディーが組み込まれること、そして、それぞれのシリンダーのピンが一組の 72 弁の櫛歯をつま弾くということだった。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

REUGE: Toshiaki Hirai, E メール: hirai@reuge.co.jp 電話+ 81 3 5155 6104

3 曲ずつ二組の作業を進めるうえで、それぞれの楽曲が 25～45 秒に制限され、必要となる数多くの音符(3 つのメロディーすべてに出現する音符もあれば、1 つのメロディーにしか出現しないものもあった)は、ミュージシャンの頭脳と感性がどのようなコンピューターをも上回るほど、極めて高度な技術と芸術性が必要であることを示している。

櫛歯

2 つの垂直の櫛歯は宇宙船の本体の片側にそびえ立つ換気グリルのように見える。それぞれの櫛歯には、シリンダーが奏でる 3 つのメロディーに従って、リュージュのミュージシャンが厳選した 72 種の音が記録される。それぞれの櫛歯はシリンダーに対応して固有の対を形成する。どちらも単独では機能しない。

櫛歯は音響的な効果に合わせて特に選択されたユニークな合金鋼を手作業で調律したものだ。低音符の場合はリードを追加する伝統的な方法で、その歯のウェイトを後方に向けて伸ばす。そしてマシンが各歯の頻度を検証し、各音を正確に奏でようわずかな素材が取り除かれる。このプロセスでリュージュが使用する手動の道具は、すべて社内で開発されたものだ。

低音の歯の裏側には小さく透明な合成羽が挿入され、ダンパーの役割を果たす。これにより、音が最適に響き渡る仕掛けだ。そして櫛歯は、本体を貫く真ちゅう製の「振動盤」に熱で青く処理された 6 本のネジで最終的に固定される。振動盤は音色をケースへと伝え、ケースが音色をさらに増幅する。櫛歯の設置が完了すると、ミュージシャンの耳がまた必要になる。最終的なチューニング作業だ。

シリンダー

美しく丁寧に手で仕上げられたシリンダーは立派な対の反応器のように、MusicMachine の本体の上に鎮座し、キラリと光を放つ。シリンダーには本質的にメロディーの「楽譜」が刻み込まれている。その数は 1,400 本もの精密に配置されたピンで、シリンダーが回るにつれて櫛歯をつまびく。リュージュのミュージシャンはすべてのピンを置く位置を、1 本、1 本厳密に決定する。ピンは長さが均一になるよう削られたあと研磨される。最後に、熱した特殊樹脂をシリンダーの内部に塗り付け、それが固まると、ピンは最上の音質でしっかりと固定される。

1 つのメロディーの演奏が終わると、シリンダーが長い軸上をわずかに移動し、この位置の変更で、ピンと櫛歯が次のメロディーを奏でるために正しい位置に並ぶようになる。各メロディーの演奏時間はおよそ 35 秒で、シリンダーがちょうど 1 回転する速度に相当する。シリンダーは目に見える歯車列を通じて、MusicMachine の後部エンジンルームへとリンクする。

ファンレギュレーター

プロペラ様の巻き上げ式のレバーのサイドには垂直の異なる円状パネルが付いている。これらはまるで惑星間をナビゲートするリーダー盤、あるいは敵のプロトン魚雷を撃退するためのデバイスを生成するフォースフィールドにも見えなくはないが、これらは実際のところ、シリンダーのスピードレギュレーターだ。ゼンマイを完全に巻き上げると、あまり巻き上げないときに比べて、ゼンマイは早くシリンダーを回そうとする傾向がある。これを調整するため、これらの円状ファンエアレギュレーターは、シリンダーが遅い方に比べて速く回転しようとしたとき、急激に大きな抵抗をかけることでそれを阻止する。これにより均一の回転が可能になる(これと同様のシステムは巻のミニッツリピータータイプの腕時計でよく見られる)。

胴体、支柱、ランディングポッド、ランディングプラットフォーム

白か黒の塗料を塗ったクルミ材を施し、MusicMachine のなめらかな本体は、ケースの中心部に収められた真ちゅう製の振動盤から伝わる音を増幅する。このプレートも曲線状になった側面の支柱とアウトリガースタイルのランディングポッド - ビード吹付加工を施した、酸化防止加工アルミニウム(黒バージョンでは黒のマット酸化防止加工) - に沿って振動を伝える。これにより、MusicMachine のランディングプラットフォームにも振動を拡大できる。この塗料を塗ったクルミ材プラットフォームは、魅力的なメロディーを増幅するだけでなく、スペースクラフトの美しい外観にも一役買っている。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

REUGE: Toshiaki Hirai, E メール: hirai@reuge.co.jp 電話+ 81 3 5155 6104

MusicMachine: 技術的仕様

MusicMachine は 66 点の限定エディション。白 33 点、黒 33 点。

ケースとフレーム

本体: 丸ミ材サウンド増幅チャンバー、白または黒のピアノ塗装 (白の塗料は耐紫外線性)
アウトリガー: ビード吹付加工と酸化防止加工アルミニウム、黒バージョンには黒のマット酸化防止加工
寸法: 横 395mm x 縦 475mm x 高さ 165mm、総重量: 2.97kg
音響拡張ブラットフォーム: 白または黒の塗装

ムーブメントと仕上げ

MusicMachine では 2 つの 3.72 ムーブメントを使用 (3 は各シリンダーのメロディー数を意味する、72 は櫛歯の音数を示す)、一方のムーブメントを右に配置、他方のムーブメントを左に配置 (双方は反対方向に回転)

メインプレート: ニッケルメッキ加工の真ちゅう、Côte de Genève の装飾あり。メインプレートが両方のムーブメントを固定、各ムーブメントにはゼンマイ、シリンダー、櫛歯、レギュレーターが含まれる

ゼンマイ: プロペラで巻き戻し

バレル: ステンレススチール、熱処理で青色に加工したネジを上部に 6 本設置、溝付きの「ピストン」サイド

レギュレーター: ステンレススチールのファン

シリンダー: 真ちゅう

開始/停止および続行機能

シリンダーサポート: ニッケルメッキ加工真ちゅう

1 曲 = シリンダー 1 回転

シリンダーごとに 3 曲

各曲の長さ: 35 秒

シリンダーごとのパワーリザーブ: 15 分

手作業で加工し、研磨したピン

ピンの長さ: 1mm、ピンの直径: 0.3mm

右シリンダーのピン数: 1,279 本、左シリンダーのピン数: 1,399 本

櫛歯: 合金鋼と鉛、櫛歯ごとに 72 本の歯、それぞれの歯は真ちゅうの振動盤に 6 本の熱処理で青く加工されたスチールネジにより加工

演奏曲

右シリンダー – 次から抜粋:

「Another Brick in the Wall」(1979) ロジャー・ウォーターズ演奏、オリジナル演奏ピンク・フロイド

「Smoke on the Water」(1973) ディープ・パープル作詞・作曲、オリジナル演奏

「Imagine」(1971) 作詞、作曲、オリジナル演奏ジョン・レノン

左シリンダー – 次から抜粋:

「スターウォーズ」(1977) メインタイトル、作曲ジョン・ウィリアムズ

「Imperial March」(1980) 作曲ジョン・ウィリアムズ

「スタートレック」(1979) メインタイトル、作曲ジェリー・ゴルドスミス

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

REUGE: Toshiaki Hirai, E メール: hirai@reuge.co.jp 電話+ 81 3 5155 6104

リュージュ – 世界のオルゴールのプレミアメーカー

リュージュ社はおよそ 150 年の経験と専門知識を誇る世界唯一のオルゴールのプレミアプロデューサーです。同社の製造するメカニカルオルゴールは、技術、音響、審美のすべての点で最上級です。リュージュはオルゴールの分野で、クラシックと最先端の両方をカバーする総合コレクションを展開しています。また、ブランドは目利きの顧客のために、特注品や限定品 (MusicMachine もその一つ) を製造する力も誇っています。

リュージュはオルゴールの巨匠というだけでなく、「型にはまらない考え方をする」天才でもあります。リュージュの精神は、伝統を守りつつも、同時に 21 世紀の美しい現代的オルゴールを携えて発展を続けるところにあります。

シャルル・リュージュが最初のオルゴール付き懐中時計店をスイス、サントクロアに開いたのは 1865 年のことでした。シャルル・リュージュはミュージカルシリンダーとミニチュアの櫛歯を時計のムーブメントへ統合することに成功した草分けでした。彼の息子、アルベール・リュージュは 1886 年に家族経営のこじんまりとしたアトリエを小さな工場へと発展させます。その後、リュージュのミュージカルムーブメントが、化粧用コンパクトやライターなどの思いもよらなかった対象に取り入れられるようになりました。ギド・リュージュはその後、60 年間以上に渡り、20 世紀のほとんどの間ブランドを統率しました。

革新的なビジネスマンであったギドは、1930 年、現在のリュージュの工場をサントクロアに建設し、会社を拡大しました。1960 年代と 70 年代には、リュージュ社はボンテム社やエシユレ社の機械仕掛けの歌う小鳥の製造とマーケティングを引き継ぎ、その知識を拡大しつつ、ほぼあらゆる曲の作成または複製をするためのスキルや能力を高めていきます。2006 年以降、クルト・クッパーがリュージュ社の CEO に就任し、彼の指揮のもと、ブランドは特注のオルゴールをカスタマイズおよび製造する独特の能力を開発しました。

MB&F – 受賞歴のあるコンセプトラボ

2005 年、ジャガー・ルクルト (Jaeger-LeCoultre) の経営チームの一員として 7 年を過ごし、さらに 7 年をジュネーブのハリ・ウィンストン・レアタイムピース (Harry Winston Rare Timepieces) で最高経営責任者として過ごしたマクシミリアン・ブッサーは、最初のオロロジカルコンセプトブランドを設立しました。MB&F – Maximilian Büsser & Friends (マクシミリアン・ブッサー & フレンズ)

MB&F はブッサーが厳選した少数精鋭のハイパークリエイティブな人々で構成されるグループとともに作業することで、究極のオロロジカルコンセプトを開発することに専心しています。伝統の足かせとなる部分は排除しながら伝統を尊重することで、MB&F は伝統と高品質の時計製造と最新鋭のテクノロジー、そしてアバンギャルドな三次元スカルプチャーを融合するきっかけとしての役割を担っています。

MB&F の時計第一号であるオロロジカルマシーン No1 (HM1) は、2007 年に誕生し、三次元アーキテクチャルオロロジーのコンセプトを世に広めました。これは HM2 (2008 年)、HM3 (2009 年) と引き継がれ、いずれも SF の影響を受けたものでした。2010 年に発表された HM4 サンダーボルトは、多くの人に MB&F の現代で最も独創的な時計と見なされています。伝説のマシーン No. 1 は 2011 年、伝統を引き継ぎながら新たにインスパイアされたラインを発表します。一方、1970 年代にインスパイアされた HM5 オンザロードアゲンは、2012 年に発表されました。

2012 年度ジュネーブ時計グランプリにおいて、MB&F は LM1 で「Public Prize」(オロロジーファンによる投票) と「Best Men's Watch Prize」(審査員による選出) を受賞しました。2010 年度と同グランプリでは、MB&F は HM4 で「Best Concept and Design Watch」を受賞しています。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

REUGE: Toshiaki Hirai, Eメール: hirai@reuge.co.jp 電話+ 81 3 5155 6104